

# おるく

2022年12月9日(金)

## もっと力をつけたいと思ったときにこそ人は伸びる

あと10日ほど登校すると冬休みに入ります。今年の冬休みは例年より少し長めの2週間です。もうどんな冬休みを過ごすか決めましたか？夏休みと同様に冬休み用のテキストを紹介します。もちろん、年末年始は夏休み以上に家族と過ごす人が多いと思いますし、勉強ばかりをしているわけにもいかないと思います。でも、やっぱり勉強もしてほしいと思っています。なぜなら、冬休みが終わって、後期後半を迎えたとき、これまで積み上げてきた学習内容をきれいさっぱり忘れてしまっただけでは、せっかく楽しく過ごした冬休みを多少なりとも後悔することになる

からです。充実した冬休みにするためには、楽しい時間と自分を磨く時間のバランスが大事です。今のうちから冬休みの過ごし方を決めることで、より充実した時間になるようにしておきましょうね。何より、期末テストや実力テストで思うような結果が出せなかったという人にとっては、この冬休み期間はチャンスです。日々の授業がどんどん難しくなり、分からないことが積み重なっているという人にとっては、一旦立ち止まって、復習に徹することができるからです。**人は、「もっと力をつけたい」「もっとできるようになりたい」と思ったときに大きく伸びます。**2年生、3年生と年を重ねるごとに勉強時間が増えたり、少しずつできることが増えていっていき、受験が近づき、進路意識が高まっていくからです。ぜひ、「力をつける冬休み」にしましょう。下に教科ごとに勉強のワンポイントアドバイスを書いておきました。今からでもぜひ取り組んでみて下さいね。



国語	文法ワークを使って復習する。漢字テストが冬休み明けにあるので、22～24をやっておく。
数学	まずは計算練習。正の数負の数→文字式の計算→方程式と少しずつ難度を高めていく。また、作図やおうぎ形の弧の長さや面積、中心角を求める問題をできるようにしておく。
英語	単語の意味の確認。特に教科書の太字については書けるようにしておく。学習したキーセンテンスを確認して書けるようにしておく。ニューアプローチや単元テストの見直しもするとよい。
理科	理科の学習を繰り返し行う。特に光の進み方の作図をできるようにしておく。また、語句を説明できるようにしておくとう理解が深まる。
社会	語句や出来事を説明できるようにする。例)レアメタルとは、〇〇。壘田永年私財法とは、〇〇。など

冬休みに特別な宿題はありません。すでに配ってある自学ノートのめ切は2月13日(月)とかなり先ですし、計画的に進めて下さい。ウィンターテキストの見本を3、4組前のワークに設置していますので厚さや内容についてはそこで確認してください。購入する場合には、**お金(おつりなし)を入れた封筒を、朝の会終了までに、担任の先生に渡してください。**なお、**12月14日(水)をめ切とします。**決意をもって新年を迎えられるように、充実した冬休みにしましょう。